

傅 根躍 (Fu Genyao) 浙江師範大学教育学院教授

浙江師範大学教育学院心理学部教授、発達と教育心理学専攻修士課程指導教官。1996年アメリカモンタナ大学、1999年カナダクイーンズ大学にて、客員研究員として研究を行い、2002年、浙江省の「151」人材として選ばれる。専門分野は、教育と発達心理学・心理測定学。長年に亘り、発達心理学・特殊児童診断及び行動矯正・心理測定学・学校心理カウンセリングなどのカリキュラムの教育と研究に従事。近年では、国家級のテーマ6項目、省・部級のテーマ7項目を主管し、研究を続けている。国内外で発表した70余篇の論著のうち、7篇はSSCIに収録。4項目の研究結果が省級の評定を得て、省・部級の科学技術賞を5回受賞。

特に、子どもの心理テストの作成や応用面での業績が高く評価されており、代表的なものには、「人物画知能テスト」(編著)、「子どもの知能スクリーニングテスト」(共著)と「子どもの社会適応行動テスト」(共著)がある。この3つのスケールの成果を認められ、浙江省科学技術進歩二等賞(子どもの知能スケールの作成と応用研究)を受賞。

### 幼児の追従的行動について

本研究では子どもが4才から他人に追従的行動を始めることを明らかにした。実験では、幼稚園児たちに、幾つかの絵画作品に点数をつけさせた。子どもたちがこれらの作品に点数をつけ終わったあと、調査員は別室に待機させていた人を一人呼び、子どもたちが点数をつけた絵の中の1枚を指して、「これはこの人が描いた絵だよ」と言ってから、再びその作品に点数をつけさせる。

3才の子どもは終始一貫して、その点数が合理的であろうとなかろうと、最初につけた点数を繰り返す。ところが、4才になると、子どもは、作者を前にして尋ねられた時には点数を高めにするようになる。これは、子どもが4才で追従的行動を試み始めていることをはっきり示すものだ。さらにこの研究では、子どもがよく知っている人や大人に対して、より多く追従的行動を取ることも明らかになった。